

なかよし運動会が教えてくれたこと3 運動会までの黄金の3日間

どんぐり山にどんぐりの実がたくさん目につく季節になりました。

附属小の教職員と子どもたちならだれでも知っている「どんぐり山」。でもその正式な名称が「いずみ公園どんぐり山」であることはあまり知られていないのではないのでしょうか。附属小の創立120周年記念誌によりますと、昭和50年10月に「校庭の築山にいずみ公園 どんぐり山と命名」との記録が残っています。現在の遊具はその120周年を記念して、平成7年当時の同窓会が中心になって記念事業を企画し「校庭に遊具がない」ということから寄付を募り設置されたものでした。



それから22年が経過しました。遊具は少しずつ老朽化してきていますが、どんぐり山は今も子どもたちの格好の遊び場となっています。その魅力は坂があることで、高いところからあたりを見渡したり、その坂を使って勢いよく坂を下ったりするスリルが子どもたちには心地よいようです。

また、この周辺は「鬼ごっこ」などには絶好の場所で、毎朝元気に駆け回っている子どもたちの姿を見ることもできます。

さて今日は「なかよし運動会予行練習」が行われました。

子どもたちの演技での頑張り・先生方の動きも100点満点でした。

今日を含めて「あと3日。」前にも書きましたが、ここからは子どもたちの「心」をどのように育てるかを大切にしたいと思っています。明日からの3日間はよく言う「黄金の3日間」にも匹敵する大切な3日間です。もちろん結果として「優勝」や「1位」を目指すことは重要ですが、そこまでの過程でどのくらい努力できたかを子どもたちと分かち合っ欲しいものです。

それにしても6年生の学級対抗リレーは別格ですね。大地先生、渡邊先生、淳先生、大久保先生、そして佐山先生、楽しみにしています。

(文責：副校長 手代木)